

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム「千本松」福寿苑

目標達成計画

作成日：平成 29 年 1 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	13	専門医や家族の協力を得て対応を試み、定期的に職員間で話し合っているが、拘束の解除には繋がっていない。	身体拘束の解除の期間を一ヶ月にする。	専門医とも随時相談し、身体拘束をしなくてもよい方法を探していく。職員も身体拘束をしなくてもよい方法を日常生活で探していく。	1ヶ月
2	15	職員は毎月モニタリングを行って、医師の意見も反映させ職員間で検討して計画を作成しているが内容の変化が無い為どのように取り組みべきか悩んでいる。	利用者様がより良く暮らすために、必要な関係者の意見やアイデアを反映させた計画書となるよう、カンファレンスを行い他職種と意見交換する。	状況に応じ医師・看護師にその都度相談しケアプランにいかしていけるよう、家族にも日常的に思いを伝え面会時などにもカンファレンスができるようにする。より具体的で本人の立場に向けた支援を続けていく。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。